

1 調査名称：（宇部市）総合都市交通体系調査

2 調査主体：宇部市

3 調査圏域：宇部都市圏

4 調査期間：令和2年度

5 調査概要：

本調査は、都市計画道路決定時から現在までの社会情勢の変化への対応及び本市のまちづくりの方針に即した都市計画道路網の構築を目的とした見直し検討業務である。

本市の都市計画道路網の現状と必要性を検証し、見直し検討は「都市計画道路の見直し基本方針（平成18年3月）山口県土木建築部都市計画課」に基づき実施する。

令和2年度は、既往調査の整理を行うとともに、主要な交差点部における交通量調査を実施し、道路体系の現況、道路交通量の動向、都市計画道路の整備・計画状況等を整理する。また、上位計画や関連計画における将来交通網の方針や道路整備に係る整備計画等を整理し、本市における都市交通の特性及び課題の検討を踏まえ、都市計画道路網の見直し候補路線を決定した。

I 調査概要

1 調査名称：(宇部市)総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1. 業務概要

2. 企画準備

3. 都市計画道路の現状と必要性検証

3-1 将来におけるまちづくりの方向性確認

3-2 上位・関連計画

3-3 都市計画道路の現状整理

4. 交通実態調査データによる交通現況把握

4-1 概要

4-2 既存データにおける交通状況

4-3 交通実態調査

5. 未着手都市計画道路等の整備必要性検討

5-1 概要

5-2 道路網体系の設定

5-3 都市計画道路の課題整理

5-4 検討対象路線の抽出

5-5 都市計画道路カルテ(案)の作成

3 調査体制

委員会等の設置なし

4 委員会名簿等

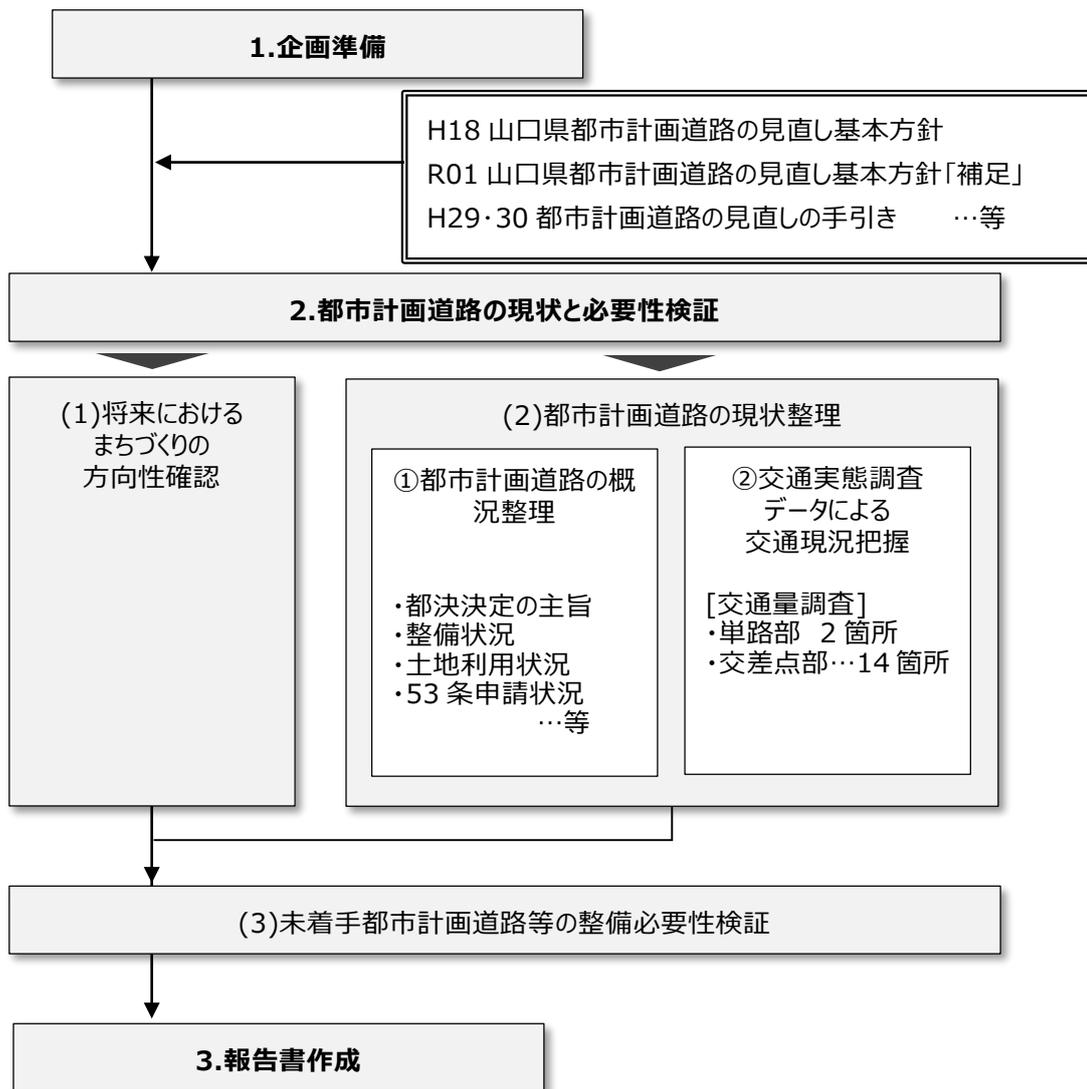
委員会等の設置なし

II 調査成果

1 調査目的

本調査は、宇部都市計画区域における将来交通需要の予測に基づき、都市計画道路の見直しの検討を行うことを目的とする。

2 調査フロー



4 調査成果

1. 都市計画道路の現状と必要性検証

1) 将来におけるまちづくりの方向性確認

上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を確認するとともに、平成30年度に策定された「宇部市立地適正化計画」に基づき、人口分布や土地利用、誘導すべき施設等の将来におけるまちづくりの方向性について確認・整理した。

2) 上位・関連計画

以下に示す上位・関連計画において、対象地域内における都市計画道路の位置づけについて、確認・整理した。

▼上位・関連計画一覧

区分	NO.	名称	策定年
上位計画	1	第四次宇部市総合計画	H22.03 [※]
	2	第2期 宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略	R02.03
	3	山口県都市計画区域マスタープラン（宇部都市計画区域）	R02.12
	4	宇部市都市計画マスタープラン	H28.03
関連計画	5	宇部市にぎわいエコまち計画	H27.03
	6	宇部市中心市街地活性化基本計画	R02.03
	7	宇部市立地適正化計画	H31.03
	8	宇部市地域公共交通網形成計画	H28.03
	9	宇部市バリアフリー化マスタープラン	R02.03
	10	宇部市地域防災計画	R02.09

※宇部市総合計画は現在改訂作業中。

3) 都市計画道路の現状整理

行政区域内の都市計画道路（幹線街路：37路線）を対象に、計画概況や現状における整備状況、土地利用、現況交通実態、及び53条申請・許可件数等について整理した。

▼現状整理項目一覧

項目	整理区分	備考
用途地域	第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域	対象区間より片側50mの範囲内に含まれる面積を集計
人口分布	現況人口（H27）、将来人口（R22）、増減	
土地利用状況	住宅系、商業系、工業系、農地、山林河川、公共施設・公共空地、その他	
主要施設	国・都道府県の機関、市役場、福祉施設、学校、医療機関、文化施設、警察署、消防署、都市公園、その他公共施設	
公共交通	バスルート、バス停、鉄道（駅）	
文化財等	都道府県指定文化財、世界文化遺産、世界自然遺産	
災害・防災関連	避難場所、浸水想定区域、津波洪水想定、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域	
保護・保全地域	鳥獣保護区、自然保護区、自然公園	
立地適正化	居住誘導区域、地域拠点、都市機能誘導区域	
自動車交通状況	H27 全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省）における日交通量	

2. 交通実態調査データによる交通現況把握

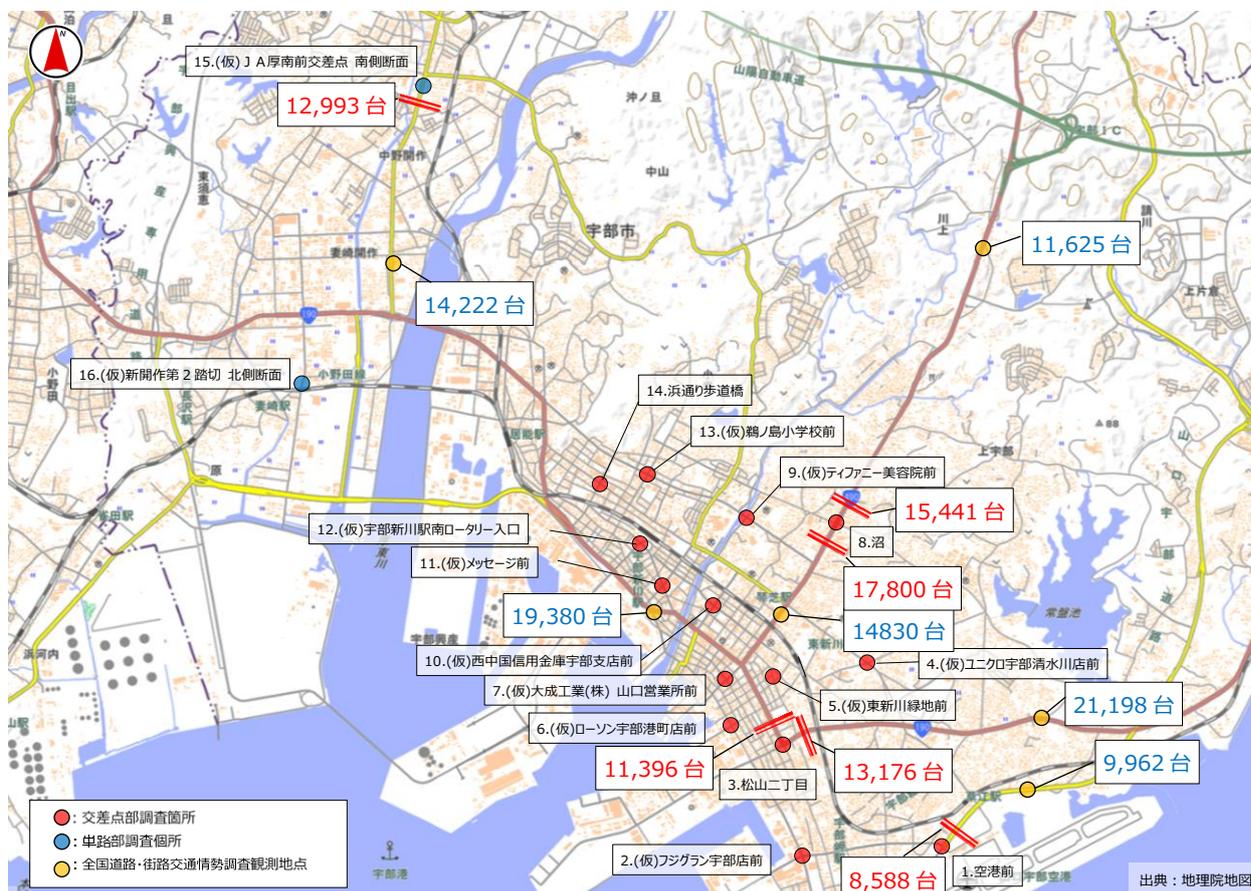
交通実態調査は、以下に示す 16 箇所を実施した。

■ 調査日時：令和 2 年 9 月 29 日（火）7：00～19：00（12 時間調査）

▼ 調査箇所一覧

形状	NO.	調査地点名	差路数	備考
交差点部 (14 地点)	1	空港前	4 差路	
	2	(仮)フジグラン宇部店前	4 差路	
	3	松山二丁目	4 差路	
	4	(仮)ユニクロ宇部清水川店前	4 差路	
	5	(仮)東新川緑地前	4 差路	
	6	(仮)ローソン宇部港町店前	4 差路	
	7	(仮)大成工業(株) 山口営業所前	4 差路	
	8	沼	4 差路	
	9	(仮)ティファニー美容院前	4 差路	
	10	(仮)西中国信用金庫宇部支店前	4 差路	
	11	(仮)メッセージ前	5 差路	
	12	(仮)宇部新川駅南ロータリー入口	4 差路	
	13	(仮)鶴ノ島小学校前	4 差路	
	14	浜通り歩道橋	4 差路	
単路部 (2 地点)	15	(仮)J A 厚南前交差点 南側断面	単路	
	16	(仮)新開作第 2 踏切 北側断面	単路	

調査地点及び調査結果概要を以下に示す。今回の調査結果（下図赤字）と H27 全国道路・街路交通情勢調査（同青字）とを比較すると、各路線においてはほぼ同程度の調査結果を得たが、全体的に今回調査の方が、交通量が少ない傾向がみられた。



3. 未着手都市計画道路等の整備必要性検討

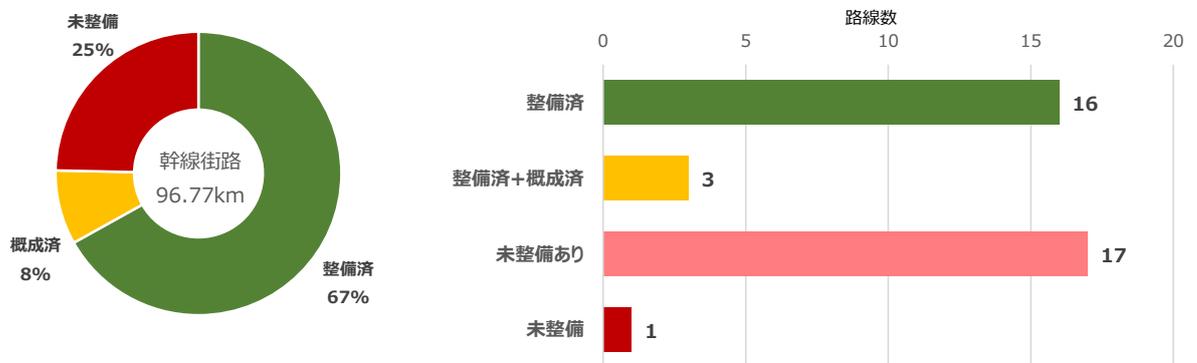
「都市計画道路の見直し基本方針」(H18.3 山口県)に基づき、検討対象路線(区間)の抽出、及びカルテ形式による個別路線(区間)の整備必要性についてとりまとめを行った。

1) 道路網体系の設定

総合計画、都市計画区域マスタープラン等を参考に都市構造を明確にするとともに、これに基づく道路網体系(機能分類)を設定した。

2) 都市計画道路の課題整理

「幹線街路」の整備状況を見ると総延長約97kmのうち、「未整備」が25%と約1/4を占める。路線別にみると、全区間が「未整備」の路線は1路線にとどまるものの、「未整備」区間を含む路線は17路線と、全体の約半数を占め、ネットワークとしての連続性が課題であるといえる。

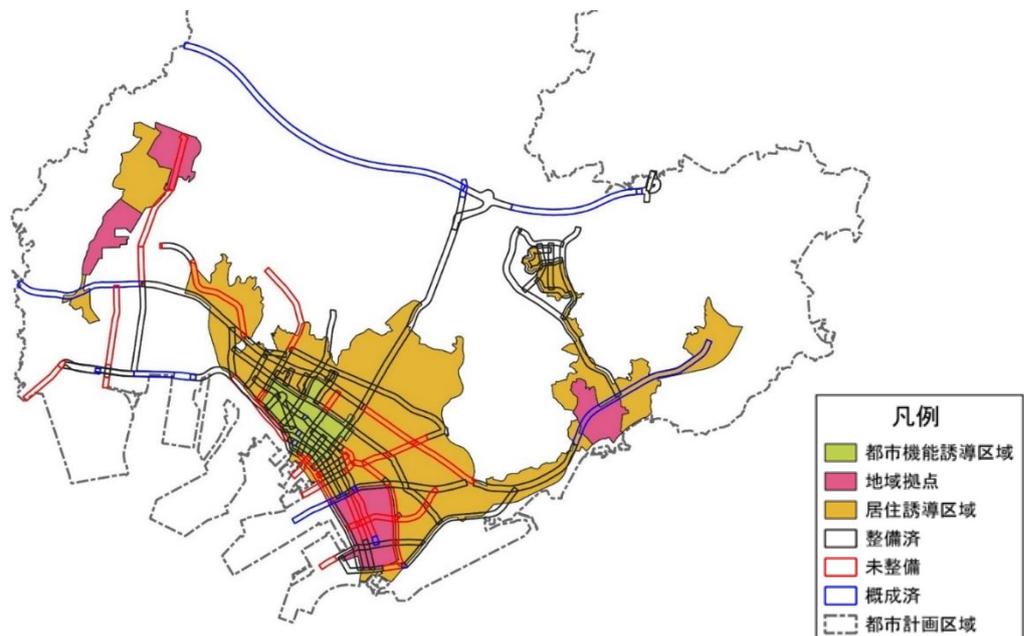


▲「幹線街路」における整備状況(延長ベース)

※ここで「未整備あり」とは、「未整備」区間を含む路線を示す。

▲「幹線街路」における整備状況(路線ベース)

宇部市では、H31.3月に「宇部市立地適正化計画」を策定し、“多極ネットワーク型コンパクトシティ”を目指している。全37路線のうち「整備済」を除く21路線について確認すると、立地適正化計画における居住誘導区域に含まれる路線^{*}は19路線であり、ほとんどの路線が居住誘導区域に含まれる。



出典：平成30年度 宇部市立地適正化計画(平成31年3月 宇部市)

▲立地適正化の指定状況

